

## 事業概要

国道 254 号は、東京都文京区を起点に、埼玉県西部地域を縦貫し、長野県松本市に至る延長約 284 km の路線であり、産業、経済、文化交流の基盤をなす、もっとも重要な広域幹線道路のひとつです。

国道 254 号和光富士見バイパスは、和光市内の外環道から富士見市内の国道 463 号までを結ぶ延長約 6.9km の道路で、周辺道路の混雑緩和や高速道路へのアクセス強化、防災機能の向上、地域の活性化などを目的としています。

## 事業の経緯

昭和45年度	都市計画決定（富士見市）
昭和51年度	都市計画決定（朝霞市、志木市）
昭和54年度	都市計画決定（和光市）
昭和59年度	事業着手（国庫補助事業採択）
平成 4年度	外環道から約 600m 区間が暫定 2 車線で開通
平成16年度	朝霞大橋着工
平成22年度	第一期整備区間が暫定 2 車線で開通（平成 22 年 4 月 24 日）
平成24年度	第二期整備区間モデル工事完成
平成28年度	都市計画変更（和光市、朝霞市、志木市） 国道 463 号跨道橋着工
平成30年度	志木市内の工事に着工
令和 元年度	第一期整備区間 4 車線化完了
令和 5年度	国道 463 号から約 1.4km 区間が暫定 3 車線で開通（令和 5 年 7 月 29 日）

## 環境に配慮した道づくり（モデル工事）

和光富士見バイパスの第二期整備区間（県道朝霞蕨線～国道 463 号）では、車道の両側に 10～13m の環境緩衝帯（植樹帯や歩道等）を設置します。

環境施設帯は、①安全・安心で緑豊かなゆとりある道路空間の確保、②騒音などから沿道環境を保全することを目的としています。

なお、環境緩衝帯の整備に際しては、地域の方々と協議会を設け、整備内容について検討するとともに、完成後の道路の姿をイメージして頂くために、志木市内でモデル工事を実施しました。



モデル工事箇所（志木市内）

## 埼玉県朝霞県土整備事務所

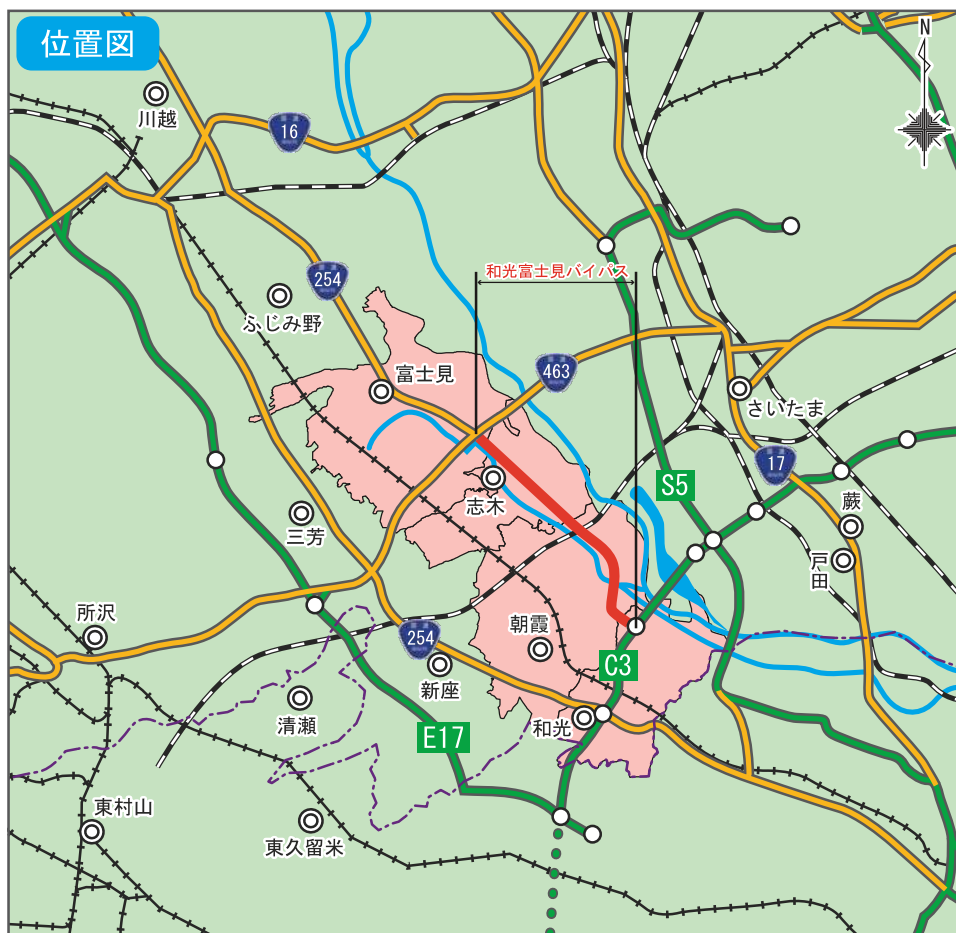
〒351-0033 埼玉県朝霞市大字浜崎 678 TEL 048-471-4661  
<https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b1002/index.html>



# 国道254号 和光富士見バイパス



# 国道254号 和光富士見バイパス



## 整備効果

### 1 周辺道路の混雑が緩和されます

国道254号の現道（川越街道）は、埼玉県と東京都を結ぶ大動脈で、物流を支える大型車の交通量も多く、一日に4万台以上の交通量（県平均の約2倍）があり、慢性的に混雑しています。和光富士見バイパスの整備により交通が転換され、現道等の周辺道路の混雑が緩和されます。



現道の混雑状況（新座市内）

### 2 災害時に人や物資の輸送路になります

国道254号は災害時の輸送機能を担う緊急輸送道路に指定されており、外環道や国道463号以北の富士見川越バイパスとともに、広域的な輸送網を形成します。

和光富士見バイパスは、現道よりも広い幅員で整備しており、災害時にも沿道の建物や電柱等により閉塞される可能性が低い道路です。



広い幅員の道路（朝霞市内）

### 3 歩行者や自転車が安全に通行できます

現道等の周辺道路は、歩道幅員が狭い区間も多く、自転車と歩行者の接触事故などの危険があります。

和光富士見バイパスは、地域の方々が安全かつ快適に道路を利用できるように、自転車道や余裕のある歩道を整備します。また、通学路などを中心に歩道橋を設置し、安全を確保します。



自転車道と歩道（志木市内）

### 4 沿線開発により地域が活性化します

和光富士見バイパスの整備により、沿線地域から外環道へのアクセスが飛躍的に向上します。

この地理的優位性を活かして、既にバイパスが開通した和光市内では、大型物流施設などの新規立地が進んでいます。これにより、雇用の促進や税収の増加など、地域経済の活性化が期待されます。



周辺地域の開発（和光市内）